

◆委員会報告

防災管理委員会

【目的】

災害時の種々の問題を検討し、防災管理体制の充実並びに適正な運営を図る。

【委員会構成】

医師1名、看護師7名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、理学療法士1名、栄養士1名、事務員3名

【内容】

- ・災害マニュアル更新
- ・避難訓練
 1. 消火器を使用した訓練
実施日：4月3日(火)
 2. 避難訓練
実施日：11月30日(金)
想定：平日夜間21：30 火点4階洗面所在室者無
- ・消防設備点検について
実施日：8月28日(火)
実施業者：日本管財株式会社
※自動火災報知設備更新
- ・2013年度災害訓練について

医療ガス安全管理委員会

【目的】

医療ガスの安全管理に関する問題を検討し、医療ガス管理体制の充実並びに適正な運営を図る。

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、臨床工学士1名、事務員2名

【内容】

- ・医療ガス設備点検について
実施業者：内村酸素株式会社
実施日：10月30日(火)
医療ガスタンク周りの柵・看板の更新実施。
- ・医療ガス機器更新について
- ・医療ガスボンベ病棟保管分の在庫管理につて

衛生委員会

【目的】

職員の健康と衛生を確保するための管理を行なうことを目的とする。

【構成】

医師2名、看護師1名、薬剤師1名、事務2名

【内容】

- 採用時健康診断実施
- 職員家族健康診断実施
- 特定業務従事者健康診断実施
- インフルエンザ予防接種実施
- 定期健康診断実施

院内感染対策委員会

【目的】

院内感染に関わる対策を協議し、施設内の感染状況を把握し感染予防を推進する。

【委員会構成】

医師3名、看護師4名、薬剤師2名、臨床検査技師2名、診療放射線技師1名、事務員2名

【内容】

1. 感染レポート(週報、月報、年報)の集計、発行、確認。レポート内容は、部位別病棟別培養分離菌・感受性率・耐性菌動向・入院時MRSAスクリーニング・抗酸菌動向
2. 院内の感染症対策(外来待合室、処置室等の室内空間、備品設備等、手技的なもの、事故発生時の対応策、ワクチン接種等の予防策)
3. 感染サーベイランスへの取り組みについてのデータ整理
4. 抗菌薬使用実績報告
5. ICT活動の支援
6. マニュアル策定、改訂審議
7. 感染対策に対する全職員向け教育活動(講演会、ポスター啓蒙活動)
8. 緊急事態(アウトブレイク発生時)への対処

ICTによる病棟回診(毎週木曜午後)と回診後の総括カンファレンスを別に実施

医療事故防止対策委員会

【目的】

医療事故予防・再発防止対策並びに発生時の適切な対応など、当院における医療安全体制を確立し、適切かつ安全な医療、及び患者中心の医療サービスの提供をはかることを目的とする。

【構成】

医師3名、看護師5名、薬剤師1名、臨床検査技師2名、事務員2名、リハビリ1名、診療放射線技師1名、栄養士1名

【内容】

1. インシデント・アクシデントレポートの報告・分析
2. インシデント・アクシデント防止のための対策
 - ・電子カルテ導入に伴う関連インシデントへの対応と啓発
 - ・患者誤認に対しマニュアルの厳守と確認の周知徹底
 - ・セーフティを徹底して、患者誤認や薬剤間違い防止
 - ・転倒防止への対策(患者情報把握と共有、各種センサーの利用)
3. 針刺し事故防止対策
 - ・新人看護師の末梢静脈点滴開始時、指導を行う。
4. 新人教育 新人教育研修 医療事故防止と院内感染対策
5. 車椅子の管理・点検 年2回実施・報告

6. 小委員会の開催（毎月第2月曜日）
7. 全職員向け医療事故防止対策研修会の実施
 - ① 7月23日(月)
 - ・2011年度インシデント・アクシデント報告・ヒューマンエラーに関して講演
 - ② 3月21日(水)、28日(木)
 - ・RCA分析を用いたグループワーク
8. 委員会メンバーの研修会参加・報告
 - ・医療安全管理者取得のための講習会参加
9. 院外からの事故報告の情報収集と職員への周知機能評価機構より医療安全情報収集医療機器薬品安全情報Pmda収集
10. インスリン投与の手順の周知、徹底
11. 「患者安全推進ジャーナル」を図書室へ
12. 医療安全回診の実施

輸血委員会

【目的】

安全で適正な、輸血療法を推進する。

【委員会構成】

医師3名、看護師4名、薬剤師1名、臨床検査技師2名、事務員2名

【内容】

1. 月末院内在庫数・月間使用数の報告
2. 輸血副作用発生の監視、報告
3. 輸血に関わる医療事故防止策の策定
4. 適正使用への働きかけ
5. 運用体制の確立、業務の見直しに係わる協議、策定
6. 院内各部署からの問題点への審議と答申

【輸血(RCC)の年間使用数と破棄率】

- ・RCC使用数261本(522単位)。
- ・RCC破棄数14本(28単位)・破棄率5.07%。

製剤名称	血液型	2011年度 年度末 在庫	入庫数	破棄数	使用数	2012年度 年度末 在庫
照射赤血球濃厚液-LR 2単位	A+	0	88	3	85	0
	O+	0	84	2	82	0
	B+	0	66	6	60	0
	AB+	0	38	3	34	1
小計		0	276	14	261	1
照射濃厚血小板-LR/ 10単位	A+	0	4	0	4	0
	小計	0	4	0	4	0
新鮮凍結血漿-LR-Ap (450)/5単位	A+	0	6	0	6	0
	O+	0	3	0	3	0
	B+	0	1	0	1	0
	AB+	0	2	0	1	1
小計		0	12	0	11	1
総計		0	292	14	276	2

栄養管理・NST委員会

【目的】

栄養管理業務・NST活動に関する事項について検討、対策を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師6名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、言語聴覚士2名、作業療法士1名、管理栄養士1名

【内容】

- ・委員会の開催（毎月第2木曜日）
- ・NST回診の実施（毎週月曜日）
- ・NST勉強会の開催
 - 6月：VF・VEについて（リハビリ室）
 - 7月：経腸栄養剤・強化食品について（栄養管理室）
 - 8月：NSTに関わる生化学測定値について（検査室）
 - 9・10月：症例発表
 - 11月：脂肪乳剤について（薬局）
 - 12月：肝臓病の栄養管理について（甲斐医師）
- ・宇城地域栄養懇話会にて症例発表 10月12日(金)
 - 「経管から経口への移行の1症例」：伊藤言語聴覚士
- ・全職員対象NST研修会の実施
 - 12月5日(水)：熊本第一病院
言語聴覚士 野田 佳代先生
- ・口腔・嚥下評価表の活用について
- ・給食管理業務に関する事項についての検討、対策

褥瘡管理委員会

【目的】

褥瘡管理業務に関する事項について検討、対策を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師6名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、栄養管理士1名 リハビリスタッフ1名

【内容】

- ・委員会開催（奇数月：第2金曜日）
- ・褥瘡回診の実施（第2・4金曜日）
- ・電子カルテにおける褥瘡対策に関する診療計画書の運用方法の検討・見直し
- ・褥瘡マニュアル改正
- ・マットレス導入・交換
- ・エアマットについて業者からの説明・デモ体験評価（2月）
- ・褥瘡発生状況
- ・褥瘡症例検討
- ・褥瘡に関連する勉強会開催（5月）
- ・褥瘡管理に関する必要事項の検討・見直し・対策

救急運営委員会

【目的】

救急医療を円滑に運営するための対策案の検討とそれを実施する為協議検討することを目的とする。

【委員会構成】

常勤医師全員、看護師、病棟・外来師長全員、薬剤師1名、放射線技師1名、事務2名

【内容】

- ・救急患者数の動向
- ・CPA死亡患者・ヘリコプター搬送患者の症例検討
- ・救急医療実施上の問題点の検討

臨床検査検討委員会

【目的】

臨床検査の適正化及び効率的運営を目指すために、精度管理等、具体的事項について研究審議し、関係各部署間の情報伝達並びに連絡調整を図る。

【委員会構成】

医師2名、臨床検査技師3名、看護師2名、事務員1名、検査部検査室員（オブザーバー）

【内容】

- ・臨床検査精度管理調査報告
- ・機材整備購入に関して
- ・検査試薬変更、基準範囲変更に関して
- ・保険点数審査請求に関して
- ・セット検査の組み方についての検討
- ・超音波検査の外来予約枠の検討
- ・電子カルテ運用に関連した事案について検討と関連部署間の調整

診療情報管理委員会

【目的】

診療情報の適切な管理により診療、調査研究、教育、法的資料、情報開示などの資料として有用に利用することで、安心・完全で室の高い医療の実現を図る。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、事務員2名

【内容】

- ・診療情報開示（2件）
- ・診療録（電子カルテ）監査実施
- ・退院後2週間以内の医師サマリー、医師中間サマリー作成依頼
- ・入院診療計画書作成依頼
- ・死亡退院患者の地域がん登録依頼と遡り調査票の作成
- ・診療録の管理（外来カルテの保管場所移動）

- ・同意書、入院診療計画書の取り扱い変更と関係部署への周知・徹底

医療倫理委員会

【目的】

医療倫理問題に関する審議・上申を行う。

【委員会構成】

医師2名、看護師3名、薬剤師1名、理学療法士1名、医療ソーシャルワーカー1名、事務員2名

【内容】

- ・計12回開催
- ・医療現場で生じている「倫理的問題」を議論
- ・全職員向け医療倫理研修会の開催（事例検討、講演など）
- ・研究における倫理的内容の審議

薬事審議委員会

【目的】

医薬品の採用等に関する審議・上申を行う。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員2名

【内容】

- ・計11回開催
- ・20品目を採用（24品目削除）
- ・特殊購入医薬品の報告
- ・医薬品の適正使用の推進
- ・院外および院内における副作用等の報告・情報共有
- ・電子カルテを有効活用した医薬品の安全管理

診療機材購入検討委員会

【目的】

医療機器・診療材料等、診療にかかわる機材購入を審議

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員3名

【内容】

- 医療機器等導入実績
64列CT（日本損害保険協会補助事業）、超音波診断装置（日本財団補助事業）、3Dワークステーション、外科ハイビジョンシステム、麻酔ガスモニタ 他
- 高額修理等検討
透視撮影装置、超音波診断装置 他 修理
- 診療材料入替検討
自己血糖測定器、プラスチックエプロン 他

外来検討委員会

【目的】

外来診療業務を円滑に運用し外来患者の顧客満足度を向上するために、外来診療業務に関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、リハビリスタッフ1名、事務員2名

【内容】

- ・外来患者待ち時間調査（10月）
- ・外来患者満足度調査（10月）
- ・外来待ち時間・満足度調査結果の報告（3月の朝礼）
- ・待ち時間短縮についての検討、検討内容の実施
- ・各部署からの問題事項に対するの検討
- ・外来意見箱の問題事項に対するの検討

回復期リハビリテーション病棟運営委員会

【目的】

回復期リハビリテーション病棟の業務を円滑に運用し、他部門との連携を良好に保つために、その運営方法について考える。病棟運営において病床管理を支援し、回復期リハビリテーション病棟の健全な運営を考える。リハビリテーションに関わる医療・看護・介護の質の向上を図ることを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、リハビリテーションスタッフ3名、医療ソーシャルワーカー1名、医事事務員1名、事務員1名

【内容】

- ①運営委員会の実施
月1回：第2木曜日
- ②地域連携パスの協力
- ③回復期病棟実績報告の協力
全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会・厚生労働省ほか
- ④回復期病床の運営管理と院内病床の運営支援
- ⑤病院視察
2/28(木) 小倉リハビリテーション病院視察
- ⑥研究発表
 - 1) 済生会学会
「四肢麻痺患者の残存能力を生かしての取り組み～日常生活機能評価には表せない機能改善～」
松崎平
 - 2) 全国回復期リハ病棟連絡協議会研究大会
「高齢化率30%を超える地域における地域連携型カンファレンスという取り組み～介護支援専門員の介入が転帰状況に与える影響～」 谷口直也
「高齢化率30%を超える地域の回復期病棟へ入院した低所得者の転帰やその他の特徴について～退院時FIMや入棟日数との関係性～」 磯田幸一郎
 - 3) 日本理学療法士学会

「高齢化率30%を超える地域の回復期リハビリテーション病棟の現状～2025年の回復期リハビリテーション医療を見据えて～」 新谷大輔主任

医療サービス向上委員会

【目的】

病院全体、各部署、委員会の「医療サービスの質向上に関する項目」について横断的に情報収集・ヒアリングを実施し、評価や改善に向けた提案等を行い、医療サービスの向上を図ることである。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、作業療法士1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、医療ソーシャルワーカー1名、事務員1名

【内容】

- ・毎月1回実施している
- ・あいさつ運動の実施（7/2(月)～7/6(金)・11/5(日)～11/16(金)の年2回開催）
「MSM(みすみ)総選挙」職員投票と表彰を実施
- ・ご意見箱の掲示、院内周知
(2005年12月より運用開始。患者のクレームに対する回答を院内に掲示。2012年度投書件数は25件【お褒めの言葉：3件、ご意見・苦情の言葉：22件】)
- ・患者説明室アメニティの改善（掲示物の変更、季節の小物の設置）
- ・接遇研修を実施（4/2(月)・・・新入職員を対象、8/16(土)・8/23(木)・・・全職員対象）

教育委員会

【目的】

全職員を対象にした研修会・勉強会等に関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、診療放射線技師1名、理学療法士1名、事務員2名

【内容】

1. 全職員に対して、以下の研修会・講習会を実施した
 - ①階層別研修会
 - ・新入職員研修会（新入職員） 4月2(月)・3日(火)
 - ・キャリアアップ研修会（5～9年目職員）10月20日(土)
 - ・2年目フォローアップ研修会（2年目職員）10月27日(土)
 - ・係長・主任研修会（幹部・リーダー研修会参加者除く係長・主任）11月10日(土)
 - ・中堅職員研修会（原則4年目職員）11月17日(土)
 - ・幹部・リーダー研修会（幹部・医師・所属長）12月8日(土)
 - ②全職員を対象とした研修会

- ・感染対策、医療安全、接遇、医療倫理、個人情報保護法研修会
- ③疾患に関する勉強会
- ④OFF-JT 研修
 - ・医療従事者のための傾聴研修
 - 1回目：8月18(土)・19日(日)、
 - 2回目：9月8(土)・9日(日)
 - ・チーム医療連携研修
 - 1回目：10月6(土)・7日(日)、
 - 2回目：11月3(土)・4日(日)
 - ・医療コーチング研修 12月1(土)・2日(日)
- 2. 全職員向けの部署毎の年間教育プログラムを作成し、冊子にして全職員に配布した

連携協議会

【目的】

関連医療・福祉機関との病診・病院連携を円滑に行うため、連携の実情を調査し、他の医療施設との連絡・調整を行う。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、作業療法士1名、医療ソーシャルワーカー3名、事務員1名

【内容】

- ・みずみ港祭り（7月23日(土)、参加人数87名、仮装テーマ・クマモン）
- ・健康フェスタ（10月21日(日)準備、運営等）
- ・宇土郡市医師会主催ミニバレー・綱引き大会参加（11月10日(土)、企画・練習・準備、綱引き4連覇）
- ・クリスマスの集い開催（12月15日(土)、三角小学校・中学校の生徒さん、大正琴の会ボランティア参加、病院職員による狸の踊り）、クリスマスの集いについてのアンケート実施・反省・検討
- ・みずみランラン駅伝（1月24日）
- ・宇天医学会学術講演会の取りまとめ（6月、10月、2月の3回/年開催）
- ・生活支援連携協議会の開催・取りまとめ（6月、1月の2回/年開催）

広報委員会

【目的】

病院の内外の広報に関する事項を患者及び住民・他の医療機関へ当院を広く知ってもらうために広報誌・ホームページ等の作成・整備及び講演活動の計画・その他広報を検討・実施する。また、職員に対しての院内広報を行う。

【委員会構成】

医師1名(オブザーバー1名)、看護師3名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師2名、事務員4名

【内容】

- ・2011年報内容検討・校正・発行
- ・院内誌「済生くまもと」第84号、85号、86号内容検討・

- 校正
- ・患者向け院外誌「さいせい」第30、31、32号の内容検討・校正・発行
- ・開院10周年記事掲載
- ・ホームページ更新
- ・院内掲示物チェック、指導
- ・済生会熊本県支部総合パンフレット内容検討

職場改善委員会

【目的】

職員間のコミュニケーションを図り、現場の声を反映させて働きやすい職場作りをし、職員の処遇や福利厚生を考えていく。

【委員会構成】

委員長 宮川医師
看護師4名、看護助手、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養管理士 各1名、理学療法士、事務 2名 計14名

【内容】

- ・職場改善委員会に出された意見を病院側に反映
- ・職員意見箱の回収(男性、女性、医局ロッカー)月一回(第一月曜)の職場会開催日に回収し、出された意見を委員内で検討後、病院・担当部署・委員会などに要望し改善をはかる
- ・職員の福利厚生に係わる年間行事検討・実施
 - 新人歓迎会の計画(4/6(金))
 - 新人歓迎ボーリング大会の計画(6/22(金)松橋ボーリングセンター)
 - 忘年会内容検討、司会、進行(前半12/14(金) 後半12/21(金))
- ・イベント行事への参加
 - みなと祭(7/21(土))
 - 医師会主催ミニバレー大会(11/10(土))
- ・創立記念イベントの企画運営(3/2(土))
- ・院内エコ活動(QC活動・節電呼びかけ)
- ・院内ボランティア活動(ペットボトルキャップ・プルタブ収集)

個人情報保護検討委員会

【目的】

個人情報保護方針、規定等を整備・実践し、患者さんの個人情報及び職員の個人情報を保護することを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、薬剤師1名、事務員3名、MSW1名

【内容】

- ・情報システム委員会と共同で「画像転送サービス」導入検討
- ・個人情報の保護に関する監査内容を検討
- ・個人情報監査シートの作成、実施

- ・個人情報保護規程の見直し、検討
- ・情報システム委員会と共同で個人情報保護についての研修会を行った（3/19）

緩和ケア委員会

【目的】

緩和ケアに関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師3名、看護師3名、理学療法士1名、作業療法士2名、薬剤師1名、事務員1名

【内容】

1. 委員会の開催1回/月（第3金曜日）
2. 緩和ケア回診1回/週（水曜日）
木曜日はICT回診との重複、業務との兼ね合いを考え水曜日へ変更した。
3. デスカンファレンス、緩和ケア症例検討会を実施
5月16日（水）、8月22日（水）、11月21日（水）、2月20日（水）
参加者の獲得のため、開催時間を夕方より朝へ変更した。
4. 勉強会の実施
7月：疼痛緩和における薬剤使用について。
看護部対象。
5. がんリハビリテーション加算開始。
7月にがんリハビリテーション研修会に参加
（医師1名、理学療法士1名、作業療法士1名、看護師1名）
9月よりがんリハビリテーション加算開始。
6. 死亡退院患者の家族へのアンケート実施
6月より開始。
死亡退院された患者の家族を対象にアンケートを実施し、入院中の介入を振り返った。
対象40名、回収14名（回収率32.5%）

情報システム運営委員会

【目的】

情報システムの安定稼働・運用・ガイドライン等に関する審議・上申。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員3名

【内容】

- ・システム整備実績
電子カルテPC追加、リハビリシステムライセンス追加
- ・電子カルテバージョンアップ適応範囲検討
- ・デジタルサイネージ導入検討
- ・次期電子カルテシステム更新検討

病床管理会議

【目的】

1. 入・退院に関する事項及び一般病床・回復期病床・亜急性期病床の適正運用を推進するために協議し方向性を決定する
2. 満床の場合の応需対策、空床の場合の患者確保や効率的運用対策など具体的施策の立案・調整を図る
3. 病床利用率85%以上を目指す施策を推進する
4. その他病床運営に必要な事項を検討・実践する

【委員会構成】

入院患者主治医の常勤医師、看護師5名、リハビリスタッフ3名、事務員1名、医療ソーシャルワーカー2名

【内容】

- ・開催日 毎週水曜日17:00-17:30
- 会議開催の前週の実績（病床稼働状況、各病床の病床利用率、平均在院日数、紹介・逆紹介件数の実績）を確認し、患者状況等に応じて回復期や亜急性期病床への転科を促している。これによって救急患者用のベッド確保、長期入院患者の把握等を行い、有効な病床利用と情報共有に向けた取り組みを行っている。

リハビリテーション広報プロジェクト

【目的】

- ・当院におけるリハビリテーション機能を急性期病院また、地域へ広く広報していく
- ・急性期病院また、地域の医療機関との連携を強化する
- ・リハビリテーションに関わる医療・看護・介護の質の向上をはかる

【委員会構成】

医師1名、MSW1名、理学療法士3名、作業療法士5名
言語聴覚士1名

【内容】

- ①継続して急性期病院または他院からの転入患者に対して、リハビリ経過報告書の送付
 - ・39施設240の返書を実施
 - ・天草地域医療センター：22通、県外：6通
- ②医療機関（特に急性期病院）と一般市民（主に出前講座）に向けた広報誌の作成及び配布
- ③院内でのリハビリ広報としてポスター掲示
- ④出前講座でのリハビリ広報メニューの講座実施。及び講座時の広報誌の配布アナウンスの実施
 - ・リハ広報メニューにて2講座実施
 - ・出前講座前にMSWを通じて広報誌の配布及びアナウンスの実施
- ⑤天草地域医療センターまた、県外、急性期病院より、当院回復期入棟患者またはリハ目的患者の年度ごと転入調査の実施
- ⑥転入待ち日数に合わせたリハビリ広報の手段の検討・調査
- ⑦健康フェスタにてリハビリ広報に兼ね、セラピスト体験を実施

QC大会実行プロジェクト

【目的】

QC活動を介して職員間の交流を図り、業務・改善を促すことを目的とする

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、理学療法士1名、事務員3名

【内容】

- 第3回QC大会を実施した
①QC活動勉強会 6月12日(火)
②QC活動報告書提出締切 1月31日(木)
③第3回QC大会 (1日目) 2月12日(火)
(2日目) 2月13日(水)
④結果発表および表彰式
(開院記念日) 3月1日(金)

最優秀賞：外来検討委員会

優秀賞：お茶のトロミ濃度統一にむけて

敢闘賞：エームでgoodサービス

特別賞：お茶のトロミ濃度統一にむけて

(2月12日)

エームでgoodサービス (2月13日)

ECG3

社会福祉推進事業プロジェクト

【目的】

済生会生活困窮者支援事業の計画・運営にあたり、院内・院外との連携を深め円滑に業務を遂行するための諮問機関として活動を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師1名、作業療法士1名、医療ソーシャルワーカー3名、事務員2名

【内容】

- 無料低額診療事業推進に関する検討
- 生活困窮者支援事業(なでしこプラン)に関する検討

健康フェスタプロジェクト

【目的】

地域住民(子供、大人、高齢者)に病院を知っていただく機会を作り、地域住民の健康意識の向上と病院のPR、患者増を目的に、職員一丸となって取り組む。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、薬局1名、検査室1名、放射線検査室1名、リハビリ室3名、栄養管理室1名、医事室1名、医療相談室1名、事務員2名、事務局3名

【内容】

- 開催日：10月21日(日) 10:00~15:00
- 来場者数：694名(一般来場者569名、出演団体関係者125名)

職員参加数：126名

出演団体：わかき保育園、みすみ保育園、上小学校、健康づくり講演会(藤岡院長、庄野副院長、田辺Dr、吉川)、木村和也さん(司会、講演会)、笑福亭鶴笑さん(落語)

【外来ブース】お薬・栄養相談、健康相談、写真撮影(職業疑似体験)、おむつ紹介、みすみ歯科クリニック、クボタライフ

【放射線、健診ブース】CT体験、乳がんコーナー(触診体験)、プチ健診、骨密度測定、手洗いチェックコーナー、アロマ足浴コーナー、

【オレンジホール】外科手術体験、BLS体験、超音波(エコー)体験、体力測定、療法士体験

【テニスコート】ミニSL、バルーン遊具、救急車、ストラックアウト

【出店】綿菓子、唐揚げ、ポテト、とうもろこし、フランクフルト、焼きそば、手作りパン、カレー、アメリカンドック、焼きそばパン、ホットドック、焼き芋、コーヒー

【出店協力】三角町商工会、ラ・ガール、済生会熊本福祉センター、吟将製菓、撫子会

在宅療養支援プロジェクト

【目的】

- 病院理念の「医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します」とあるように、地域住民が安心して在宅で療養生活が継続できる支援を行う為、各職種が集まり必要なサービスの検討・改善・創設、情報交換を行う機会を定期的に設ける。
- 周辺地域の高齢化、周辺施設の不足に伴い、患者が住みなれた地域で生活できるように往診・訪問看護・訪問リハビリテーション・居宅介護支援事業所を持つ在宅療養支援部の創設に向けて協議を行う。

【委員会構成】

医師2名、看護師5名、作業療法士1名、理学療法士1名、薬剤師1名、管理栄養士1名、事務員2名、MSW2名

【内容】

- 周辺地域の福祉サービスの実態調査を行い、ニーズを表現する。
- 現在行っている介護保険サービス(訪問リハビリテーション・介護予防事業等)の報告、検討・改善。
- 新たな介護保険サービスの創設に向けての協議。
- 患者が住みなれた地域で安心して生活できるように、かかりつけ医・市役所・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・介護保険サービス提供事業所・インフォーマルサービス等と共同して支援できるネットワーク作り

患者療養支援会議

【目的】

当院の外来受診、入院中の患者さん又は家族からの疾病に関する医学的な質問や生活上及び入院中の不安など、様々な相談に対応し、患者さんが抱える治療、療養上の問題解決を目的とする。

(相談内容の具体例)

1. 治療に関するご相談、不安や苦情、要望などに関するご相談。
2. ガンに関する様々なご相談。
3. 他の医療機関への受診・転院に関するご相談。
4. 医療費の心配、福祉制度の利用などに関するご相談。
5. 自宅退院時、訪問看護や介護保険サービス利用についてのご相談。
6. 個人情報に関する心配、苦情などのご相談。
7. その他、入院や通院における心配事や困ったこと、当院に対する苦情、ご意見など。

【委員会構成】

医師1名、看護師5名、薬剤師1名、
医療ソーシャルワーカー1名、事務員1名

【内容】

1. 相談窓口は1F総合受付に設置。(平日8:30~17:00)
2. 相談窓口の専任は医師・看護師・准看護師・薬剤師・放射線技師・臨床検査技師・管理栄養士で構成。
3. 関係部署のスタッフは1/Wカンファレンス(患者療養支援会議)に参加し、相談内容と対応の状況を確認し協議し、その内容を毎月管理運営会議に報告する。
4. 患者等から相談を受けた場合の対応体制
 - ①患者等から相談を受けた場合、その内容に関連するスタッフと随時相談し対応する。
 - ②各部署で受けた場合、担当者(所属長)に相談し対応する。相談内容や対応の経緯については所定の書式に入力し、カンファレンスの議題とする。
5. 2012年度相談件数 261件

診療報酬改定対策プロジェクト

【目的】

2012年度診療報酬改定への対応

【委員会構成】

副院長・診療部長・看護部長・事務長
コメディカル各室長・医事室長・医事室員2名

【内容】

- 4月
- (1) 届出項目の最終確認(変更・新規)
 - 入院基本料・加算等
 - ヘッドアップチルト
 - 時間内歩行検査 ほか多数
 - (2) 組織図の変更=医療安全管理部及び感染管理室の設置
- 5月
- (1) 4月届出分の報告

- (2) 患者サポート体制加算=不受理のため再検討
- (3) 看護必要度加算1
- (4) 回復期リハIの方向性確認
- (5) 退院調整関連検討(総合評価等)

事前指定書検討プロジェクト

【目的】

当院における事前指定書の運用の可否、書式・支援体制の検討を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、理学療法士1名、
事務員1名、医療ソーシャルワーカー1名

【内容】

- ・期間: 1月16日~活動
 - ・地域における事前指定書の有用性の確認
 - ・当院における運用可否
 - ・書式や支援体制の検討
 - ・運用について、院内への啓蒙、地域への周知方法、作成希望者への支援内容の検討
- 当地域に必要な書式・ガイドラインを作成し、運用、支援体制について検討を行った。

図書委員会

【目的】

図書・図書室の運営(図書・図書室の環境・管理・活用)。多職種のスタッフの意見を取り入れ、図書室の運営(環境、管理・活用、購入・予算の検討等)について検討・協議する。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、理学療法士1名、放射線技師1名、
事務員2名

【内容】

- ・図書環境充実のための検討(図書室の整理整頓、配置換え)
- ・図書の購入・予算についての検討(年間予算の確認、部署ごとの購入実績、全体の購入実績等)
- ・各部署定期購読分の種類の見直し(医局、医療相談室の種類追加)